

がんばろう！東北

お知らせ

平成 29 年 12 月 14 日
東北地方整備局

平成 29 年度「手づくり郷土賞」が選定されました ～東北管内から『2件』選定～

本日、平成 29 年度「手づくり郷土賞」(国土交通大臣表彰)の選定について、国土交通省 総合政策局において記者発表されましたのでお知らせいたします。また、平成 30 年 1 月 28 日に「手づくり郷土賞グランプリ 2017」を開催しますので、合わせてお知らせいたします。詳細については別紙を参照ください。

東北管内からは、岩手県一関市の骨寺村荘園遺跡を拠点とし活動している『「骨寺村荘園遺跡」等の保全と地域の活性化を目指す活動』、宮城県石巻市で整備中の復興祈念公園を拠点とし活動している『石巻南浜津波復興祈念公園における市民の伝承活動』の 2 件が一般部門で選定されました。なお、一関市では 16 年ぶり(岩手県内で 2 年連続)、石巻市では 23 年ぶり(宮城県内で 7 年ぶり)受賞となります。

今後、「手づくり郷土賞」の認定証授与式を予定しておりますが、詳細については、別途お知らせいたします。

<記者発表先>

岩手県政記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

<問い合わせ先>

国土交通省 東北地方整備局

企画部 企画課 課長補佐 桐山 久夫 (内線：3156)

TEL：022-225-2171 (代表)

案件名 「骨寺村荘園遺跡」等の保全と地域の活性化を目指す活動（岩手県・一関市）



▲昔ながらの田園風景が引き継がれている「骨寺村荘園遺跡」

＜活動内容＞

世界遺産「平泉」の関連資産となっている骨寺村荘園遺跡と一関本寺の農村景観を継承するため、平成16年に協議会を発足し様々な活動に取り組んでいます。地区に残される水田を活用した「稲作体験イベント」は、老若男女・地区内外問わず例年400名が参加。田植えや収穫祭が適時開催され、都市・農村間交流が促進されています。平成27年には、市・地権者らが管理協定を締結し、小区画水田が残されている景観の保全と活用強化を図るなど、地区住民が一体となった農村景観保全と継承活動に取り組んでいます。



▲老若男女が参加している稲刈体験交流会

＜活動主体＞

本寺地区地域づくり推進協議会

＜対象となる社会資本＞

国史跡「骨寺村荘園遺跡」及び国の重要文化的景観
国道342号
一級河川本寺川

案件名 石巻南浜津波復興祈念公園における市民の伝承活動（宮城県・石巻市）



▲公園整備予定地で開催の追悼行事(市民活動拠点)

＜活動内容＞

震災直後から被災者自身が活動開始。追悼行事、震災伝承、公園内植樹など、3団体が連携・協力し様々な活動を継続し取組み、祈念公園の下地を築いています。公園整備予定地には団体の活動拠点がおかれ、これまで6万人以上の人が来訪。「がんばろう！石巻」看板が震災直後から設置され、多くの人を励まし続けています。看板製作は石巻の復興・自立にかける人々の思いとともに、現在、地元中学生が継承。3団体の継続した活動が、将来の公園活用に不可欠となる継続した市民活動の礎となっています。



▲名物看板「がんばろう！石巻」地元中学生が製作を引き継ぐ

＜活動主体＞

がんばろう！石巻の会
公益社団法人みらいサポート石巻
特定非営利活動法人こころの森

＜対象となる社会資本＞

石巻南浜津波復興祈念公園